

分類	2-03	教科名	数学	科目名	数学Ⅱ			
対象学科 (コース)	全学科			学 年	2	単位数	3	
指 導 目 標	「数学Ⅰ」を履修した上で、事象を数学的に考察し処理する能力を育てる。さまざまな自然科学における分野で応用されている数学的思考の基礎固めをする。計算力・論理力を養うだけでなく、グラフや図形を描く表現力を養わせ、自然現象を数学的に考察し処理する能力を高めさせる。							
内 容	式と証明・高次方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分							
内容の取扱い	教科書の内容を基本として、すべての生徒が履修する科目であることを考え、生徒の実態に応じて、その内容の程度、範囲を精選し授業を行う。また、問題集や補充プリントを活用し類似問題を多数解くことにより、理解・技能の定着を図る。							
指 導 計 画	学 期	指 導 事 項	指 導 内 容				予 定 時 間	
	1 学 期 4～6 月	式と証明	整式の割り算、分数式の計算、式の証明 (13)				30	
		複素数と方程式	複素数、複素数の計算、2次方程式の解と判別式、因数定理、高次方程式 (17)					
	2 学 期 7～11 月	座標	数直線上・平面上の2点間の距離、内分・外分、三角形の重心 (6)				42	
		直線の方程式	さまざまな直線、2直線の交点、平行条件・垂直条件 (8)					
		円の方程式	円の方程式、円と直線、円と直線の共有点の個数、軌跡、不等式の表す領域、連立不等式の表す領域 (13)					
		不等式の表す領域	一般角、弧度法、三角関数とそのグラフ、三角関数の公式、加法定理 (15)					
	3 学 期 12～3 月	指数関数	指数法則、整数・有理数の指数の定義、指数関数とグラフ				33	
		対数関数	対数の定義と性質、対数関数とグラフ (10)					
		微分係数と導関数	平均変化率、微分係数、導関数、接線の方程式、関数の増減、関数の極大・極小、関数の最大・最小 (16)					
			導関数の応用	不定積分、定積分、定積分と面積 (7)				
	教科書・副教材他	最新 数学Ⅱ (数研出版) 3ROUND 数学Ⅱ (数研出版)						

評 価 規 準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	評価比重
講 義	◎	○			
演 習	○	◎	○		
定 期 考 査	○	◎	○	◎	
提 出 物	○				
評 価 の 重 点					